

# とっとり Summer 2024 Now



巻頭  
特集

地域色豊か、  
個の競演  
愛しきクラフトビール

あーとの森 洋画 太田垣 匡男 2

巻頭  
特集

## 地域色豊か、個の競演 愛しきクラフトビール

4

きらり匠人 継承の技が語る世界 寝具製作技能士一級 米原 友晴 12

カメラアイ Camera Eye 荘厳、初夏告げる大輪 (鳥取市鹿野町) 14

開運おかげ詣で 因幡と伯耆の神社 國廳裏神社 (倉吉市) 16

ここにこの人 障がい者福祉に尽力 植村 ゆかり 17

TOTTORI おもしろ発見手帖 県内の野外彫刻を巡る 20

企業紹介 株式会社101 22

鳥取のうま味 老舗の鰻と郷恩料理 23

VIVA! トットリLIFE 輝くIUJターン者たち サイクルショップ経営 (江府町) 24

Voice・読者プレゼント・編集後記 26

□「特集」は休みます。



●表紙イラスト●

池平 徹兵  
いけひら・てっぺい

1978年福岡県生まれ。鳥根大学卒。東京オペラシティアートギャラリーprojectN、岡本太郎現代芸術賞展、VOCA展などに出演。

### 142号表題「ミルクの泉」

鳥取県最大規模のメガファーム「みんなの牧場」(鳥取市国府町)。ロータリーパーラー(回転式搾乳機)は、まるで牛たちがメリーゴーランドで遊んでいるかのように、どこか遠い星の光景に見えた。ホルスタイン模様が重なり合う美しさと、一頭一頭の魅力を大切にしながら24頭を描いた。

キャンバス/油彩



巻頭特集：県内各地の醸造所で造られている個性豊かなクラフトビール

「色と形とマチエール(絵肌)の追求」が信条の太田垣<sup>まさお</sup>匡男さん。球体と方形とバリエーションの構成は、事物の説明ではなく、鑑賞者に委ねた独自の世界だ。しかし制作動機には、「戦争・環境・災害・暮らし」の死生観があり、いわば人間と社会の心象風景となった。

## 人間と社会の心象風景

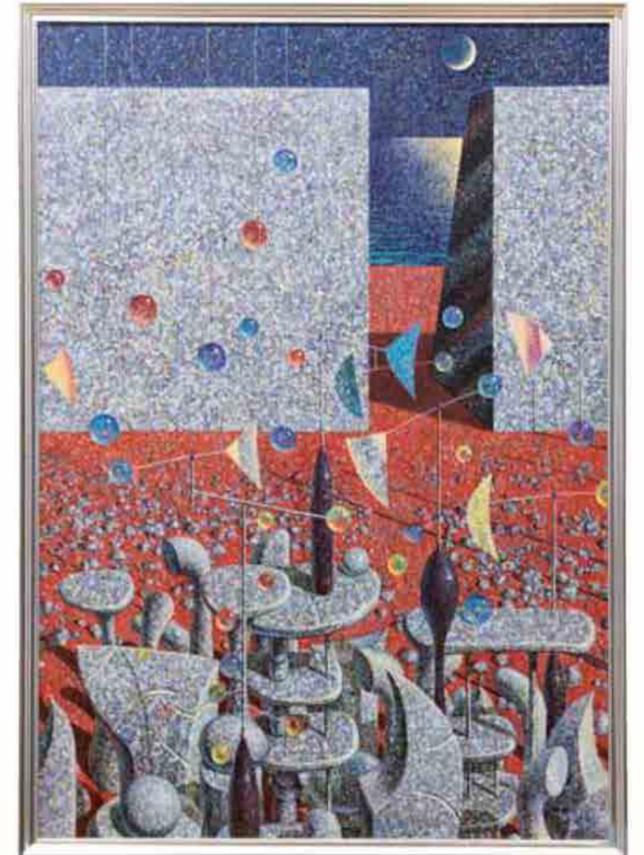
洋画 太田垣 匡男

少年時代、渡り鳥の死骸をスケッチした。「蝕まれた姿に魅せられた」とは、かなり早熟だったのだ。作風は具象から抽象に推移したが、鋭敏な感性は不変で、現代の<sup>まんだら</sup>曼荼羅模様を描き、妻を看取った<sup>ひなうた</sup>「鄙唄」には此岸と彼岸<sup>しがん ひがん</sup>(※)が登場した。

作者は長年、兵庫県で美術教師を務めた。日本海及び、瀬戸内海近くの高等学校などで生徒たちと描く喜びに浸り、退職後も交流が続く。『海辺のエチュード』は、画面下の擬人化した群れと、ブロック<sup>はざま</sup>の狭間にのぞく海面で、朗らかな光景を思わせる。

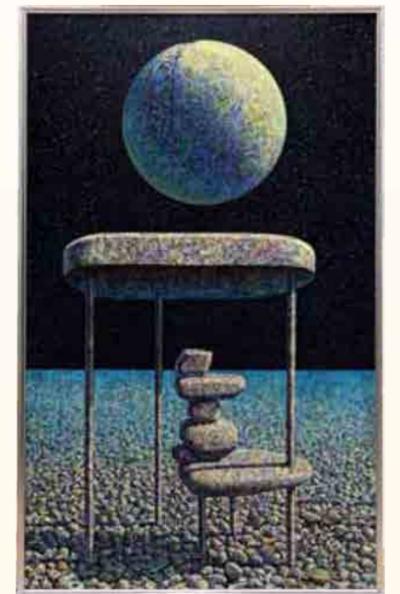
椅子<sup>いす</sup>を意味する『THE STOOL』は、対照的に崩壊の危機感が漂う。惑星の一部はひび割れ、積み上げた石ころは不安定で、人類が安心して座る位置はどこにあるのか。見る人によって感想は異なろうが、受け取る私たちの振り幅こそ、作品が仕掛けたマジックなのだ。

※此岸と彼岸=人の世界と仏の世界



『海辺のエチュード』(アクリル・キャンバス、30号、2004年)

文/角秋勝治 写真/山内一峰



『THE STOOL』(アクリル・キャンバス、60号、1985年)



### おおたがき・まさお

1937年、鳥取県松保村(現鳥取市)生まれ。59年、鳥取大学文学部美術科(当時)卒。63年に国展初入選、以来同展を中心に活躍、国画賞を受賞し71年会員推挙。2016国展90周年永年会員表彰。文化庁現代美術選抜展、現代日本代表作家カナダ展などに出品。鳥取、但馬、姫路、神戸などで個展開催。

「とっとりNOW」が毎月届く「ふるさと来LOVEとっとり」会員を募集中!

入会  
年会費  
無料





# Craft Beer

## 地域色豊か、個の競演

### いと愛しきクラフトビール

マイクロブルワリーと呼ばれる小規模のビール醸造所が近年、全国各地で誕生し、一大ブームとなっているクラフトビール。鳥取県内でも、ここ3年ほどでその数が倍増している。魅力は、何と言っても作り手や土地ならではの個性。地域色豊かな味わいを生み出す醸造所を訪ねた。





醸造所に並ぶ4つの500Lタンク

炭酸ガスを溶け込ませながら  
次々と瓶詰めされていくビール



バラエティー豊かな6種類のラインナップ★

## 伝統大事に新しい味を生み出す

## 地元の偉人の 思いを受け継ぐ

白壁土蔵群の風情ある町並みの一角で、ひと際目を引くビールタンク。古い病院を改装した建物は、レトロな景観とよくなじむ。醸造所の横には飲食スペースを備え、店内ではビール片手に会話を楽しむ人の姿が見える。

カウンターの中でビールを注ぐのはオーナーの福井恒美さん。倉吉市出身で、地元を離れていた時期もあったが、2006年にUターン。地域の課題解決に取り組むNPO法人を立ち上げ、移住者のサポート、地域のコミュニティ

やにぎわい創出のための野菜や花の「軽トラ市」、リヤカーでの移動販売などの活動に取り組んできた。

そんな中で知ったのが、同市出身の実業家・磯野長蔵（1874-1967）の存在だ。磯野は麒麟麦酒株式会社（キリンビール株式会社）の創業者の一人であり、故郷の苦学生を支援するために私財を投じて「財団法人三松奨学育英会」も創設した。これらの功績から、倉吉市初代名誉市民の称号を贈られている。

福井さんは「こんなにすごい偉人がいるのに、倉吉の人はあまり知らない。磯野さんの思いを継承したいと思い、ビール造りに乗り出しました」と、醸造所設立の経緯を語る。

ビール造りのための場所も資金も技術もなかったが、人の縁に恵まれて2019年に倉吉ビール株式会社を設立。翌年8月に500Lのタンク4つを備えた「BREW LAB KURAYOSHI」をオープンさせた。

開業当時は新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）対策の緊急事態宣言が発出された時期。観光地の白壁土蔵群も閑散としていたが、オープンの日を用意したふるまいビール60杯はあっという間になくなり、地域の温かさを感じた。「コロナと重なり苦しい時期が続いたが、少しずつお客さんを増



「磯野さんの思いを受け継ぎ、人を幸せにするビールを造り続けたい」と福井さん



ラボではソーセージやチーズなどビールに合う軽食も提供★



中庭を見ながら、ゆったりとくつろげる席★



● BREW LAB KURAYOSHI (レストラン併設)  
● 倉吉市東仲町2587 ☎0858-27-1432  
● <https://brewlab-kurayoshi.jp/>  
● ☎11時~18時 休水曜

倉吉市内の農家では、今もキリンビールの原料となるビール麦を契約栽培している。同社も昨年からは自社ホップの栽培をスタートした。「何のためにこの事業をしているのかを忘れずに、地域に支持されるブルワリーでありたい。100年以上続くキリンビールのように、倉吉の伝統になれば」。BREW LAB KURAYOSHIの歴史は始まったばかりだ。

やし、多くの人に支えられて乗り越えられました」と感謝する。

ビール造りのコンセプトは「飲む人を幸せにする」と「伝統×新しさ」の2つ。「水、空気、地元酒蔵の酒粕、星空舞、野花梅など、地元にあるもの」で今までにないものを造ろうとしています」と福井さん。一番人気は鳥取県のブランド米「星空舞」を使った「ペールエール」や「IPA」、日本酒と融合した「酒粕ブリュー」などもおすすめだ。



醸造所に隣接する居酒屋「酒房銀」で3種類を飲み比べできる

## コロナを機会に一念発起

目の前に日本海が広がる抜群のロケーション。この場所で2022年に醸造をスタートしたが、徳万尻日乃本麦酒だ。「徳万尻」は昔ながらのこの地域の呼び名で、「日乃本」は以前の家業に由来する。「両親はラムネなどの飲料水の製造工場を営んでいました。醸造所は当時の倉庫を改装したものです」と話すのはオーナーの嶋崎早苗さん。長年、この地で居酒屋「酒房銀」を経営する。嶋崎さんがビール造りを始めたきっかけはコロナの流行だった。店の営業がままならない中で「地

「コロナの時期は大変だったけど結果的に新しい挑戦ができてよかった」と嶋崎さん



ビール造りのため、県外から移住してきた万代さん

域のためにできることはないかと考え、以前から興味があったビール造りを決めた。63歳にしての挑戦だ。研修先は、マイクログルワリー（小規模醸造所）の先駆的存在として全国に知られる、岡山市の吉備土手下麦酒。車で片道3時間半の道のりを何度も通った。「時間はあったし、苦手だった車の運転が上達しましたよ」と笑い飛ばす。独り立ちした今も研修会に参加して、全国の弟子仲間と交流を深めている。コンセプトは「尖った商品なのに楽しむ」。地元の素材を生かし、ビールには使われないような副原料で、珍しくて面白いけれども不思議と体になじむビールを生み出す。大山乳業農業組合の脱脂粉乳

居酒屋の常連客にも、クラフトビールの魅力は徐々に浸透し、地元ファンも増えた。最近では県外からわざわざ訪ねてくる人もいれるほど。「ビール造りを始めて、全国の醸造家仲間との輪が広がり、人生がガラリと変わりました」と、嶋崎さんは新たなステージを楽しんでいる。

徳万尻日乃本麦酒  
所 東伯郡琴浦町徳万694-10 電話 0858-53-0618  
https://r.goope.jp/hinomoto-beer/  
※「酒房銀」 電話 0858-53-0618  
営業 17時～23時 日曜、祝日

## 愛されて地元を代表する銘柄へ

クラウドファンディングで資金を募り、2018年に米子市初のビール醸造所として誕生した「JAP BREWERY」。ビールの醸造所というと、銀色の大きなタンクが並んでいるイメージだが、こちらは飲食店の厨房のような雰囲気だ。「大がかりな設備がいらす、低予算で生産が可能な『石見式醸造方法』でビール造りをしています」と話すのは醸造長の樋本文徳さん。醸造所の設備は、ホームセンターなどで手軽に買うことができるのみ、冷蔵庫とポリ袋を使いアルコール発酵させている。樋本さんは兵庫県の出身。大阪市内のカフェで働いていたが、カフェで提供していた欧米のクラフトビールに感動して醸造家の道を志した。九州の醸造所で半年ほど修行し、JAP BREWERYの立ち上げスタッフとして、米子市に移住。現在、樋本さん一人で醸造を

現在商品は4種類。この後もさまざまな副原料を模索中だ★



## わが子のように慈しみ育てる

行う。「温度変化など目が離せず大変ですが、手間暇の分だけ、わが子のように愛着が湧きます」と、慈しむように寸胴鍋の様子をうかがう。自社ブランドの「475ビール」という銘柄には「地元を代表するビールになる」という意味が込められている。1回の醸造量は、100リ程度とかなり少量だ。「少量生産の利点はさまざまなスタイルのビールにチャレンジできること。米子を中心に山陰の特産品を使いたいいろいろな新レシピに挑戦しています」と樋本さん。これまでの試行錯誤では失敗例もあった。「例えば、カレーなどに使うクミンと青

小ロットずつ丁寧に醸造する樋本さん

ジンは合いませんでしたね」と笑う。目指すのはクラフトビールの入門になるような、初心者も飲みやすい味わいだ。おすすめは、クセが少なく飲みやすい「アメリカンペールエール」。自家製レモネード入りの「レモネードベルジャンホワイト」は女性に人気で、地元の珈琲店の珈琲豆を投入した「コーヒポーター」は、黒ビールながらスッキリとしている。「新レシピの試作では、いつもワクワクする。今後も意外な素材に挑戦したい」と少年のように目を輝かせる。



JAP BREWERY  
所 米子市東倉吉町142-3 電話 0859-46-0475  
https://japbrewery.jp/

「TEN FORWARD」は、岩美町の浦富海水浴場の目の前にあり、ゲストハウスに併設されている。訪ねると、そのコンパクトさに驚いた。「クラフトビールは装置産業といわれ、1000万円はかかる初期投資が大きなネック。そこで身近なもので工夫し、小回りのきく醸造所をDIYしました」と、案内してくれたのはオーナーの黒崎さん。醸造所の中は、最小限の動作と労力ですむように綿密に計算されており、麦汁を発酵させる冷却室まで手作りだ。

黒崎さんは兵庫県出身。銀行員を経て、関西でファイナンシャルプランナーの仕事に従事していた。「コロナでリモートワークが可能になり、以前から興味があった田舎暮らしを考えるようになりまし

た」と移住の経緯を語る。

せつかくなら地域に貢献したいと考えていたところ、母方の実家があった岩美町の地域おこし協力隊の募集を見つけ、2020年8月に着任。2年半の任期中、町おこしの商品企画などを担当した。

## 自称「日本一小さな醸造所」



県内の幅広い素材を生かした商品の数々

## 料理感覚で地元素材生かす



材料をホームセンターなどで購入し、手作りした醸造所。「かなり研究を重ねました」と黒崎さん

もともとビール好きだったこともあり、「クラフトビールは水や副原料などで土地の個性を出せる」と、協力隊員時代に「いわみ碧ビール」の商品化を手がけた。この時は県外の醸造所に製造を委託したが、好調な売れ行きにも後押しされ、23年3月の退任後は、自身で醸造に挑戦。動画投稿サイトなどを見て自家醸造の方法を研究し、神奈川県の醸造所での研修を経て、同年7月に酒造免許を取得した。

仕込み水は、岩美町に流れる清流の伏流水を浄水器でろ過したものが高まる。



TEL TEN FORWARD 岩美郡岩美町浦富2465-1  
 E-mail info@ten-foward.com  
 URL https://www.ten-foward.com/

## 無限の可能性秘めた ビールで人生を豊かに



©タカハラユウスケ

「ぼくが4歳の頃に亡くなった父は、ビール好きでした。父の記憶は数シーンほどしかないのですが、彼がこよなく愛した「Budweiser」の筆記体のロゴが、幼心にとても格好よく見えたことを覚えています。

20歳になってお酒を嗜むようになり、苦いビールを痩せ我慢して飲み続けました。格好いい大人の飲み物だと信じていたからです。ある時、「あれ？おいしい…」と感じ、初めて大人の仲間入りができた気になりました。

社会人になり、広告制作会社の先輩ライターから東京・渋谷にあるベルギービールの店に連れて行かれて以降、すっかり奥深き「BEER」の世界の虜に。知識を深めるため、「ビアジャーナリストアカデミー」にも通いました。

鳥取県への移住後は、カルチャースクールで講座を受け持ったり、テイस्टングイベントを主催したりして、ビールの魅力を伝えていました。そこに出版社の方がたまたま参加してくれたことで、『山陰クラフトビール』という書籍を出版することに。幸運でした。

山陰両県にはきれいな水を始めとする質の高い主原料や、豊かな食材を使った個性的なビール、特殊な酵母を使った実験的なビールが数多くあります。

いつしかぼくは、県外や海外のお酒好きが山陰を巡って、旅とビールを堪能する未来を夢想するように。

現在、『山陰を世界のビール観光の聖地に！』という言葉掲げ、「山陰ビール友の会」というコミュニティを運営しています。最近、そのなかで「鳥取横断ビール列車を走らせよう！」という酔狂なプロジェクトが始動。鳥取から米子まで貸し切りのビール列車を走らせるべく、大の大人たちが我を忘れてみんなで夢を語って楽しんでいますよ。

ビールには、人と人をつなげるだけではなく、無限の可能性があると思うのです。ビアツーリズムで山陰を盛り上げられるはずだし、ひいては日本を元気にすることだって、ぼくはできると信じています。共感していただける方はぜひ、仲間入りしてもらえたらうれしいです。

ビールで人生はもっともっと豊かになります。



### やの・たつひろ

だいでんちよう  
 大山町在住のビアエッセイスト、山陰ビール友の会会長。1980年生まれ、東京都出身。立教大学卒業後、コピーライター、放送作家を経て2013年、妻の故郷の鳥取県に移住。著書『山陰クラフトビール』『石見式スモールビジネス論』（どちらも今井出版）。趣味は野球。

## BEERあれこれ

### ブルワリー (BREWERY)

ビールの醸造所。ブルワー (BREWER) はビール職人。

### 主原料と副原料

水、麦芽、ホップ、酵母がビールの主原料であり、これにさまざまな副原料をプラスして、特徴を出す。

### 地ビールとクラフトビール

酒税法が改正された1994年以降、日本各地で誕生した小規模醸造所によって作られたビールを「地ビール」と呼んだが、2000年代中頃から「クラフトビール」の呼び名が定着した。

### 酵母

酵母は、上面発酵 (エール) 酵母と下面発酵 (ラガー) 酵母に大別できる。エールはフルーティーで深い味わい、ラガーはほどごしスッキリの特徴がある。

### ビールの製造工程

- 1 糖化\*麦芽を粉砕し温水と混ぜて、糖化させ麦汁をつくる。
- 2 煮沸\*ろ過した麦汁を煮沸し、その間にホップを入れる。
- 3 発酵\*②を冷却し、ビール酵母を加え約7日間、発酵させる。
- 4 熟成\*2週間~1カ月熟成させた後、炭酸ガスを溶け込ませ、ボトルに詰める。

【監修：矢野竜広】



熟練の技が生み出す伝統の綿布団

ふわりと空気を含む綿を一枚一枚、丁寧に広げて最初は縦に次は横に、綿切れしないよう交互に重ねる。整え重ねた綿を底に敷いた側生地ごとひっくり返せば、ふっくら真新しい敷布団が現れた。

寝具製作技能士一級 米原 友晴

体全体を大きく使って、昔ながらの和綴じの手法で側生地と厚みのある綿を綴じていくのは、この道65年の米原友晴さん。微塵も迷いのない鮮やかな所作は、頑固一徹な職人だった父譲りだ。16歳になると、親子で布団や座布団づくりに勤しんだ。

「20～30代頃は、温泉宿から続々と注文が殺到。10日間ほど旅館に滞在し、500枚以上の布団や座布団を仕立てました。おかげで鍛えられましたね」

確かな仕事ぶりが評判を呼び、県内各地及び隣県の温泉旅館からひっぱりだこだった。1962年には、昭和天皇が三朝温泉に滞在する際、布団を新調する指名を受けたことも。

羽毛布団に押され年々、綿布団の需要は減ったものの、「昔ながら」を求める声はなくなる。「綿は保温性に優れ、吸湿性も抜群。特にたくさん寝汗をかく赤ちゃんには最適なんですよ」

すべて手作業で仕立てた布団は、まるで雲のように軽やかながら、しっかりと体を支える安心感も。日本人の眠りを守り続けてきた伝統が、今もこの地で生きている。

文/日高むつみ 写真/田中良子

☎ 米原寝具店 0858-22-4292  
 所 倉吉市西岩倉町2166 困 不定休  
 営 10時～16時



敷布団1枚を仕上げるまで約1時間。  
 「若い頃はもっと早かったですけどね」と米原さん



綿をバランスよく縦、横交互に重ねていく。  
 要望に応じ、綿の量などを加減する

MEMO  
 寝具製作技能士は、手づくりの布団の製作に必要な裁断、綿入れ、手縫いなど仕上げの技能を認定する国家資格。厳しい学科試験と実技試験によって、日本古来の布団づくりの伝統が受け継がれている。

四隅をとじる飾りのフサは、邪鬼を払う魔よけの役割もあるという



道具は針、糸、手ばさみ、量りとシンプル



## 莊巖、初夏告げる大輪

(鳥取市鹿野町)

撮影／北村拓郎 (鳥取市)

莊巖かつ神秘的な美しさで夏の訪れを告げるハスの花。鳥取市鹿野町では、地域の方々の手入れにより町内あちこちで開花するが、特に写真の「鹿野ハス園」は規模が大きく多種類のハスが咲き誇り、圧巻の眺めだ。6月中旬～7月中旬の早朝7時～9時頃が見頃。



# 植村 ゆかり

障がい者福祉に尽力

Uemura Yukari



希望を胸に鳥取県に移住した矢先、夫が急死、続いて長男に障がいが見つかる。植村ゆかりさんが、この絶望の淵からはい上がる力となったのは、「わが子を守る」という信念。障がい者が輝くための多様な居場所づくりに没頭するうち、いつしか障がい者福祉の先頭に立っていた。

文／松田 則章 写真／萱野 雄一

開運 詣で でおかげ

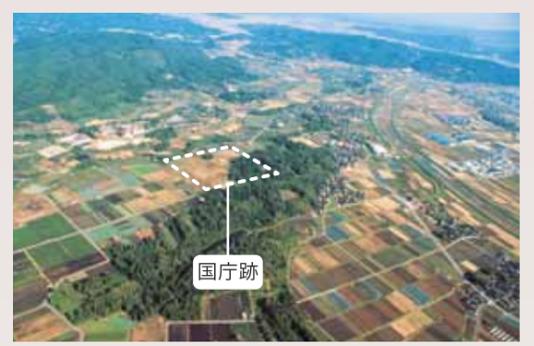
因幡と伯耆の神社



鎮守の社が背後に広がる拝殿

## 1200年続く祈りの風景

### 國廳裏神社 倉吉市



広大な自然林に囲まれた伯耆国庁跡  
※写真提供・倉吉市教育委員会

倉吉市から琴浦町へ抜ける県道151号を西へ。国府川を越えると国府と国分寺の集落があり、その西側一帯に緑の風景が広がる。今では想像しにくいのが、かつてこの地は古代伯耆国の中心地だった。  
750年頃、国庁（※）と共にその敷地内に「國廳裏神（現在の國廳裏神社）」が造営された。国司（※）が着任して最初に行う仕事为国中の神社の参拝だが、一社一社回る手間を省くため、主要な神社の神様をまとめた神社を参拝することでそれに代えた。これを「総社（そうじや）」といい、國廳裏神社が「伯耆国総社」に当たる。  
ちなみに少しさかのぼり716年、こ



社地の南端を東西に横切る小道。古代山陰道と推定されている

の国庁に赴任してきた国司が山上億良。億良は大伴家持、柿本人麻呂と並ぶ有名な万葉歌人だ。  
ここには古代と現代をつなぐ痕跡がくっきりと残る。まず、神社を囲む広大な自然林。ご神木を含む樹齢800年の大木が立ち並ぶ。さらに参道を横切る小道は古代山陰道と推定され、ここが重要な地であったことが想像できる。  
平安時代が終わり貴族社会から武家社会へと変わるに連れ、国庁は次第にその役目を終えていったが、この風景は時代や権力の移り変わりに左右されず、人々の祈りの場として千年を超えて生き続けている。  
文・写真／角田 治

※国庁・国司＝奈良〜平安時代に中央から派遣された行政官（国司）が政務を司った場所が国庁

ご利益 縁結び、病氣平癒、五穀豊穡



つのだ・おさむ グラフィックデザイナー。神仏探訪家。『山陰の神々 古社を訪ねて』（山陰の神々刊行会）など、神社にまつわる書籍の取材・執筆・撮影。

#### 神社情報

社号：國廳裏神社 〔山〕倉吉市国分寺426  
☎ 0858-22-4785（倉吉八幡宮）

## 輝ける場所で生きる喜びを

思い込みで限界決めるな

トライアスロン大会の国内発祥地・皆生(米子市)。この場所でも毎年、もう一つの鉄人レースが開催される。障がい児・者を対象とした「全日本Challengedアスロン皆生大会」(※)。植村ゆかりさんはその生みの親だ。

「障がいがある人はなぜ参加できないのか。一生懸命生きている人たちが輝く大会がやりたい」。そんな思いに駆られ、行政や企業に協力を呼びかけて開催資金を集めた。壁となったのは、障がい者の家族たち。「好奇の目にさらされる」「けがをしたらどうする」。必死に説得して回った。

2007年10月8日。記念すべき第1回大会はあいにくの大雨だったが、欠場者はなく全員参加。全力で泳ぎ、走り、ゴールした。当初参加を躊躇した家族たちは涙を流し、声を枯らして応援した。大会は昨年16回目を迎え、全国から参加した選手はコロナ前には120人を数え、ボランティアは300人近くにのぼる。

「周囲の思い込みで限界を決めてはいけない」。この大会を通じて、植村さんの信念となった。

### 移住5カ月で絶望の淵に

植村さんは京都府出身。就職した職場で夫となる保さんと出会って結婚し、1986年12月に夫の夢だったペンション経営のため大山麓の溝口町(現伯耆町)に移住した。

しかし、希望にあふれた生活は5カ月で暗転。保さんが心筋梗塞で急逝したのだ。植村さんは悲しみのどん底に突き落とされつつ



「アクアスロン皆生大会」は、障がいの種類に関係なく参加可能だ。ゴール後の表情は達成感で生き生き★

も、生後3カ月の長男・周平さんの子育てに追われた。ところが、周平さんはいつまでも言葉を発せず、歩くこともできない。1歳を迎えたとき、「自閉傾向、発達遅滞」と診断された。

「身寄りのない地で一人きり、辛かった。だけど親の猛反対を押し切った結婚、故郷には帰らないとの意地があった」

地元の方々のサポートも得て、なんとか4年間踏ん張った。しかし、周平さんの学校や病院通いのためペンションをたたんで米子市内に転居し、周平さんは県立米子養護学校に進んだ。



「おおぞら」の運営を支えるスタッフたち  
☆写真提供:多機能型事業所みらいず



音楽好きが集まり、思い思いに楽しく奏でる「りっぶる音楽団」(米子市本通り商店街)★

※アクアスロン=水泳と長距離走を続けて行う競技。トライアスロンはこれに自転車ロードレースが加わる

## “物言う障がい者”を育てたい

1993年、同校の保護者7人で、子どもたちの居場所をつくらうと学校の空きプレハブを借り、作業所を始めた。これが障がい者福祉に携わる出発点となった。翌



うえむら・ゆかり

大学卒業後、大阪府で公務員に従事し、1986年に溝口町(現伯耆町)に移住。ペンション経営の後、93年から障がい者福祉に携わる。2005年にNPO法人地域活動支援センター「おおぞら」の理事長に就任。同センターでは、知的、身体、精神障がいのある18~79歳の約20人が通い、軽作業を行うほか、同所や米子市役所で作業所製品などを販売する福祉の店も開く。\*99人が飛ばない川をただ1人飛ぶ。怖いもの知らずの性格で道を切り開く。米子市在住。

### 「被害者の会」の仲間たち

「実は、植村ゆかり被害者の会」というのがあってすよ」。

笑って話す植村さんは「思いだけで突っ走る私を支えてくれ、実現してこられたのはこの人たちのおかげ」と感謝する。

例えば、第1回アクアスロン大会では、本来取材側の記者たちまでボランティアで参加した。2019年に開いた「ファッションショー」では、ドレスの貸し出しを飛び込みで要請した貸衣装店に一式無料で貸与してもらい、最終的には着付けスタッフまでも派遣してもらえた。当日は、ウェディングドレスをまとい、ランウェイを笑顔で歩く娘の花嫁姿に、家族は感激の涙を流した。

さらには、障がい者たちが意見を発表する「本音を語る会」、音楽好きならだれでも参加できる



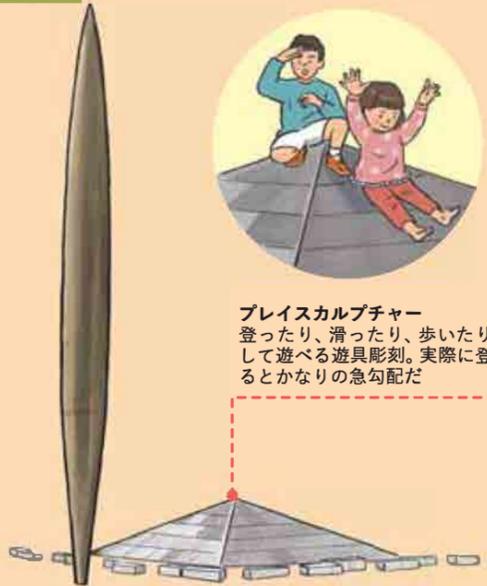
会場に感動の涙があふれた「ファッションショー」★

「りっぶる音楽団」と、植村さんが生み出したイベントや組織は枚挙にいとまがない。「やってみないうちにあきらめてはいけません」。そんな思いで協力を求める彼女の言葉は人々の心を揺さぶり、支援者の輪が広がる。

「こう生きたい、これをしてみたい」と、物言う障がい者を育てていきたい。同時に、障がい者のことを自分事として考えてもらいたい。共生社会への道のりはいまだに険しく、簡単に論じてほしくないと言う。

「重度知的障害者の母親。これが私の最高の誇り」との思いを胸に、植村さんは歩み続けていく。

★写真提供: NPO法人地域活動支援センター「おおぞら」



プレイスカulpture  
登ったり、滑ったり、歩いたりして遊べる遊具彫刻。実際に登るとかなりの急勾配だ

約17mの黄金に輝く巨大なやりが、天に飛び立とうとしているようにも、地に突き刺さっているようにも見える。ピラミッド型彫刻とのバランスが絶妙で、独自の空間を生み出している。子どもたちの遊具としても人気だ。

作者/福嶋敬恭 設置年/1984年  
素材/塔:アルミニウムブロンズ\*三角錐:石(御影)  
設置場所/鳥取市(鳥取県立布勢総合運動公園)  
サイズ/塔:奥行き133cm 幅133cm 高さ1880cm  
三角錐:奥行き1000cm 幅1000cm 高さ240cm

～県内の野外彫刻を巡る～



三度笠  
竹皮やすげを編んで作る笠。江戸時代に江戸・大阪・京都などを1カ月に3度往復する飛脚が被っていたことに由来する名

波しぐれ三度笠

世界的彫刻家・流政之の作品。江戸時代の旅装束をまとった高さ4mもある3体が、海に突き出た堤の先に並ぶ。菊港はかつて北前船の寄港地で、海を渡る人々の旅姿がモチーフになった。仕上げは手彫りのノミ切り仕上げ。

作者/流政之 設置年/1989年 素材/石(白御影)  
設置場所/琴浦町(菊港東堤)  
サイズ/奥行き660cm 幅760cm 高さ433cm

個性豊かで多彩。風景に溶け込む

鳥取県ではかつて国内外から招かれた彫刻家が、まちと“交流、しながら制作する市民発のプロジェクトが盛んだった。そのため、まちを散策すれば、個性的な魅力にあふれ、そのうえ風景に溶けこんだ多くの彫刻と巡り合える。鳥取市在住の彫刻家・石谷孝二さんに見どころを聞いた。



スカートの柄のような赤とんぼの刻印

碧川かた顕彰碑

碧川かたは、童謡「赤とんぼ」の作詞をした三木露風の母で鳥取市出身。ふわりと浮かび上がりそうな女性像が掲げる鳥は「子」をイメージした。女性解放の先駆者だが、元看護婦の雰囲気な柔らかな曲線で表現している。

作者/石谷孝二 設置年/2015年 素材/ブロンズ  
設置場所/鳥取市(西町緑地)  
サイズ/奥行き67cm 幅67cm 高さ140cm

月から舞い降りた兎



荒々しく造り込まれたウサギは、四肢を目いっぱい伸ばし、瞳は生き生き、躍動感にあふれ今にも跳ね回りそう。梨の花をくわえた演出も洒落ている。場所に合わせて設計されており、背景の芝生や樹木と見事に調和している。

作者/加藤昭男 設置年/2000年 素材/ブロンズ  
設置場所/倉吉市(倉吉パークスクエア)  
サイズ/奥行き94cm 幅200cm 高さ167cm



VOL.15



月に向かって進め'96

クジラ型の船の底面はつややかに磨かれ、甲板には未来都市のようなモニュメントや建造物、階段などが刻まれる。ゴツゴツと荒い面には、経年により苔がむし、作品の一部に。宇宙に飛び出していきそうな勢いが感じられる。

作者/井田勝己 設置年/1996年 素材/石(黒御影)  
設置場所/米子市(米子コンベンションセンター)  
サイズ/奥行き270cm 幅258cm 高さ168cm

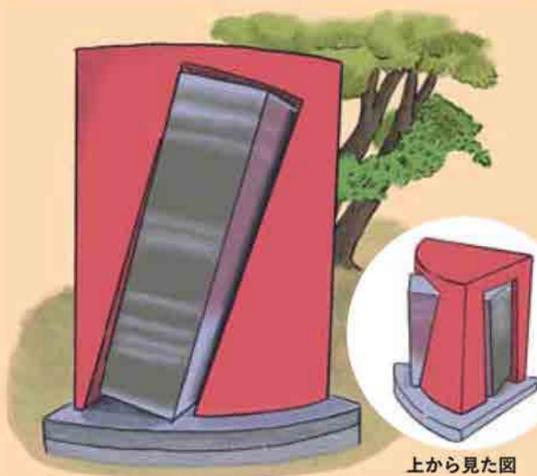
太陽と月の神話



神殿を思わせるような柱の上に、丸く愛らしいシンボリックな太陽と月が左右対称に置かれ、その間には、真っすぐな瞳でまちを見つめる女性。神秘的な雰囲気魅せられ、神話と名付けられたストーリーに想像が膨らむ。

作者/藤田英樹 設置年/2006年 素材/石(御影)  
設置場所/米子市(鳥取県西部総合事務所)  
サイズ/奥行き120cm 幅190cm 高さ240cm

異・空間 9212



上から見た図

緑豊かなプロムナードを歩けば、目に飛び込む鮮やかな赤色がまぶしい。ステンレスの銀色部分は、一辺のみが下に接しており、内蔵された磁石の反発で支えられ、まるで浮いているかのよう。"異次元につながる扉。"を思わせる。

作者/内田晴之 設置年/1992年 素材/ステンレス  
設置場所/倉吉市(倉吉線鉄道記念館北側)  
サイズ/奥行き123.8cm 幅143cm 高さ190cm

参考:野外彫刻データベース(運営/有限会社キーワード)  
Web <https://www.keyword-co.net/tottori-sculpture/>

生田春月文学碑・相ひ寄る魂



生田春月は米子市出身の文学者。自伝的小説『相ひ寄る魂』に登場する「浜灘」が皆生海岸のため、ここに設置された。碑には小説の一節が刻まれている。U字の間から見える海と潮風に揺れる松が、風情を醸し出している。

作者/辻貫堂 設置年/1984年 素材/石(白御影)  
設置場所/米子市(皆生海浜公園)  
サイズ/奥行き75cm 幅147cm 高さ196cm

文・イラスト/渡部紘巳(わたなべ・ひろみ) 納豆が大好きなイラストレーター。1982年生まれ、鳥取県育ち。づるづるした食べ物が好きなことから、屋号は「スタジオづるり」。Web=<http://dururi.com>

## 地産ラベンダーで美髪のおもてなし

鳥取市福部町の砂丘地で栽培されているラベンダー。初夏に満開を迎える  
★写真提供：株式会社101



「sakyu」シリーズのヘアケア&ボディソープ

美容師の経験を生かし、農業×美容をキーワードに株式会社101(鳥取市)が取り組むのは、原料のラベンダー栽培に始まるヘアケア製品開発の6次産業。それらを宿泊施設のアメニティーとして展開する農・商・観の連携事業も本格始動し、美髪を通じたおもてなしは、鳥取の魅力発信に貢献している。

毎年6〜7月になると、一面が美しい青紫色に覆われ、清々しい香りほどある砂丘地のラベンダー圃場だ。その3分咲きの枝を朝露が湿く間もない早朝に収穫し、鮮度が落ちないうちにエッセンシャルオイルを抽出。それをベースに開発したのが、「sakyuミドレシャンプー&トリートメント」だ。ヘアケアマイスターの認定資格を持つ凄腕の美容師22人の意見を反映しただけあって、心地よい香

りと抜群の使用感が魅力。しかも、世界でも最も厳しい基準を持つとされる「英国Vegan協会」の認証も取得、乳幼児にも安心して使えるとモニターの評価も上々だ。生みの親である代表の寺田健太郎さんは、京都府出身。関西圏で長らく経験を積んだ美容師かつ、大阪や兵庫、京都でサロンを展開する経営者でもある。鳥取市で新たな事業を立ち上げたのは2019年。「妻の育休明けの際、子育てのために妻の実家がある鳥取への移住を決めました」と寺田さん。加えて、部下に関西の店を任せられるようになったことも、後押しになったという。



「農業はまったくの初体験で体当たり。周囲の協力も得てここまでできました」と語る寺田さん

「この地だからできることを考えた時に思い浮かんだのが、オリジナル製品の開発だった。」「ラベンダーは、水はけの良い土地を好み乾燥や塩害に強い。砂丘地にこれ以上適したハーブはないと。また、唯一無二のサロンクオリティーのヘアケアは、来県者へのおもてなしにもなる」。一度使えば、リピートされる自信もあった。さっそく、宿泊施設と連携して製品をアメニティーとして展開する「とっとりトリートビジョン」構想を売り込むと、9施設が賛同し、2023年11月からスタート。要望の多かったボディソープも追加で開発したという。今後は、季節に合わせた製品やフレグランスの開発も計画 중이다。美容師ならではの視点を生かした「おもてなしの心」は、徐々にその裾野を広げようとしている。

### 株式会社101

代表 / 寺田 健太郎  
設立 / 2019年1月  
資本金 / 1800万円  
〒鳥取市面影2-13-13  
☎ 090-4299-7949  
🌐 <https://www.101.farm>

## 老舗の鰻と郷恩料理



現在は、鰻重との両輪で国内外からの客をもてなす。

「地元の食材の良さを知って鳥取県を盛り上げよう」と、料理研究会「惣和会」(※)を19年に立ち上げ、調理師仲間や生産者と2カ月に1回、多彩な食材をテーマに講習会も開く。

「生産者の方や食材に感謝しながら、日々、本気で料理を作る。お客様に喜んでいただくことが、私の使命です」と宮崎さん。真っすぐな想いは、料理にそのまま込められている。

文 / 井田 裕子 写真 / 山田 真実  
※惣和会=(一社)鳥取県調理師連合会の仲間6人でスタート。年々、会員は増え現在64人。年間を通じ料理への研鑽を深めている

新鮮でとろける甘さの日本海産シロイカに地元の日本酒と梅干、ショウガを丁寧に煮詰めた煎り酒のソースが添えられた一品。伝統を誇る鰻重は炭火焼で、外側はパリッと香ばしく身はふっくら、甘みを抑えたタレとご飯との相性は、言わずもがなだ。この店の料理には、自然と「ありがとう」とつぶやいてしまう感動がある。

1946年創業の梅乃井は、関東風鰻の老舗。2018年に3代目店主の宮崎博士さんが暖簾を継いでからは、豊かな食材を育む郷土への感謝と、「料理を通じてお客さまに恩返ししたい」との気持ちをこめた会席料理、郷恩料理、の提供も始めた。

## 鳥取のうま味

料理で伝える

郷土への恩返し

鰻重(松、4000円税別)と肝吸い(200円税別)。愛知県三河一色産の鰻は、身も皮もやわらかい。郷恩料理(13000円税別)のうち一品、「香梅白イカのみようが添え」。

梅乃井  
所 鳥取市元魚町1-215  
☎ 050-3647-4780  
☎ 昼:12時/12時30分  
夜(予約制):18時/19時  
休 日曜、月曜  
(祝祭日の月曜は営業)



# トライアスロンに魅せられ開業

## 自転車の楽しさ、広く伝える



From Okayama



輝くIJUターン者たち

文/松村 亜紀子 写真/萱野 雄一

世界で戦うトライアスロン選手が自転車店を開いた。  
かなざわじゆん 金澤純さんが選んだ場所は だいせん 大山の麓、こうふちやう 江府町。

道にアップダウンがあり、

眺望も良いトレーニングにぴったりの場所で、

レースから普段使いまで、広く自転車の楽しさを伝えている。

### サイクルショップ経営(江府町)

## 金澤 純さん

岡山県出身

- ◎家族構成/妻、子4人
- ◎移住前の住まい/岡山県倉敷市
- ◎移住時期/2001年
- ◎現在の仕事/サイクルショップ経営

サイクルショップ  
リッコー サイクル  
**「RICCO CYCLE」**

〒日野郡江府町江尾2076-13  
 (JR江尾駅隣)

https://ricco-cycle.com/



「床を張り替えたり、壁を塗ったり、ほぼ自分で行いました」と金澤さん

### 衝撃の出会いで一念発起

金澤さんがトライアスロンに出合ったのは20年以上前。岡山県出身で、結婚を機に妻の実家がある米子市に移り住み、バス運転手として働いていた。ある年、皆生海岸で開催されていたトライアスロン大会で、己と闘う選手たちの勇姿に衝撃を受け、「やってみよう」と思った。しかし、もともと運動があまり好きではなく、体重管理のためジョギングをしていた程度、自転車も水泳も競技としては未経験だ。それでも「未知のことに挑戦したい」とことんやらないと気が済まない性格で、



全日本トライアスロン皆生大会で疾走する金澤さん(2023年7月)

### 競技の影響受け、職業に

トライアスロンにのめり込むうち、関連した仕事に就きたいという思いが強くなり、自転車店の開業を

突き進む。たまたま、職場にトライアスロン歴の長い先輩がいたため、つきっきりで指導してもらい、熱心にトレーニングに励んだ。

そして、翌年には上記大会に出場、見事に完走を果たす。以降、ケガで休んだ1回を除き連続出場。記録も伸び続け、2017年は世界大会初出場、今年12月には3回目の出場(ニュージーランド大会)を予定している。



鳥取県西部のサイクリングチームのウェアを飾った店内(写真右には、国内外のブランドの本格的なロードバイクや部品を並べ、競技者ならではの視点で愛車選びを手伝っている。

一方、通学用の自転車やシルバーカー、車いすなど生活を支える商品も扱う。県内外から愛好者に足を運んでもらおうと、大山を駆け抜けるサイクルイベントの主催や、電動自転車の貸し出しも始めている。「多くの人に自転車の楽しさを感じてもらえたら」

店は自転車の調整や修理などで、作業予定がびっしりのにぎわいぶりで、金澤さんは「想像以上に、地元のみなさんにひいきにしてもらっている」と感謝する。

「これからもみなさんに喜んでもらえる営業を続け、競技でもさらに高みを目指したい」。江府町に集う自転車好きや、全国のトライアスロンファンを、熱く盛り上げ続ける。



45歳~49歳の部で見事優勝を果たし、受けとったトロフィーや賞状

【I・J・Uターンの相談窓口】

公益財団法人  
 ふるさと鳥取県定住機構

☎ 0120-841-558

とっとり移住定住  
 ポータルサイト  
 「鳥取来楽暮」▶



さくらだに みそぎ  
櫻谷神社が禊の神をまつられていたとは知りませんでした。自宅近くなのですが、この辺りは神社仏閣がたくさんあり、今まで存在に気付かずじまいでした。訪れてみようと思います。  
(鳥取県鳥取市 岸本 京子)

巻頭特集「小早川秋聲の生涯」が、圧倒的迫力と神秘的な美しさを伴って、心揺さぶられました。『天下和順』が彼のたどり着いた一つの心境なのかなと、少し安堵させていただきました。ありがとうございます。  
(東京都東大和市 樋口 彰)

「小早川秋聲の生涯」を読み、初めて彼の存在を知った上、日野町のご出身であることを知り、わが鳥取県が誇るべき画家として、もっと周知し賞賛しても良いと思った。特に戦争画は感慨深く、塗りつぶされた桜の意味を思うと切なくなりました。  
(西伯郡大山町 勝部 由紀子)

サウンドクリエイターの井谷優太さんの記事(「ここにこの人」)を拝読し、障がいがあっても、前向きに好きなことで人生を切り開いておられることに心を打たれました。  
(京都府京都市 竹内 美香子)

「鳥取のうま味」で「さばししゃぶ」を初めて知りました。サバ節のだしにくぐらせて食べるなんて、とてもおいしそう。米子に行ったら食べてみます。  
(鳥取県鳥取市 松本 友香)

企業紹介の記事。「ひらめきからJAXA関連の仕事へ」とは、なんてロマンがあること! アクセサリーやオブジェもすてきです。空を眺めてみようかな。  
(鳥取県鳥取市 森 由紀子)

刀剣研師の存在に驚きました。作り手や伝えてきた人々、歴史にすでに思いをさせ、丁寧に研ぎあげるその姿勢に、まさに「匠」だと感動しました。  
(鳥取県倉吉市 石田 昭博)

■ 応募方法

下記の項目を記入し、ハガキ、電子メールまたはWEBの専用応募フォームでご応募ください。

- ① 希望の商品記号または商品名
- ② 掲載記事への意見・感想
- ③ 応募用クイズの答え
- ④ 住所・氏名・年齢・電話番号

※②の感想が次号の「voice」に掲載される場合、住所・氏名が明記されることをご了承ください。また商品の当選は、発送をもって発表に代えさせていただきます。

※お預かりした個人情報、はプレゼント発送以外の目的に使用することはありません。



● 応募用クイズ ●

Q ビールの主原料は水、ホップ、酵母のほか、残るひとつは何? 空いている□に当てはまる文字をひらがなで記入してください。



141号のクイズの答えは「あまがつ」

■ 応募先

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220  
鳥取県広報連絡協議会(鳥取県庁内)  
「とっとりNOW読者プレゼント」係  
メールアドレス: now@kouhouren.jp

応募バ切  
2024.  
6/30  
消印有効

A



クラフトビール飲み比べセット

(330ml×3本) 【3名】

鳥取県のブランド米「星空舞」を使った「星空エール」、倉吉市の老舗酒蔵「元帥酒造」とコラボした「酒粕ブリュー」、軽い口当たりでありながらコクがある「パールエール」の3点セット。

問 倉吉ビール株式会社  
☎ 0858-27-1432

sakyu ミドレシャンプー (30ml)  
sakyu ミドレトリートメント (30g) 【5名】

鳥取の砂丘地で栽培したランゲルナーから抽出した精油を使用し、ヘアケアマイスターが監修したヘアケア製品。英国ヴィーガン協会認証も取得しており、髪にも地球にも優しい成分だ。

問 株式会社101  
🌐 https://www.101.farm/

B



鳥取はちみつ食べ比べセット

(40g×6個) 【3名】

巣箱の設置場所を調整し、菜の花、レンゲ、栃(マロニエ)、ソヨゴ、クリなど、時期によってさまざまな花からハチが採取したハチミツ。異なる香りや味の違いが魅力の食べ比べセット。

問 株式会社Buzz Bee  
🌐 https://tottori-hachimitsu.com/

C



Editor's note □ ■ 編集後記 □

「思い込みで限界を決めないで、本人の意思をきちんと聞いて」。植村さんの言葉(17頁)にはとっした。当然のことだ。なのに、当事者の家族でさえも、本人に確かめることなく、思い込んでしまうという。この現状から、さまざまな希望や行動が制限されてきた。□壁を次々と破壊し、人を巻き込み、嵐を起こしてきた植村さん。台風一過、その先に色とりどりの笑顔の輪が広が

った。虹がかかる「おおぞら」のように。□道のりは、でこぼこだらけだった。不安の渦にのみこまれた夜や、目覚めた瞬間に愕然とする朝が、幾年月もあったはず。何度も何度も歯を食いしばって乗り越えてきたに違いない。□同時に、真の共生社会はとてつもなく遠いと嘆きも。同感だ。私にできることは、この一期一会で得た、感じたことを、一人でも多くの人に伝えていくことしかない。「限界を決めない」。冒頭の言葉を胸に刻んだ。 [Hi]

《企画・編集・発行》鳥取県広報連絡協議会  
〒680-8570 鳥取市東町1丁目220(鳥取県庁内)  
《制作》株式会社セイデザイン  
〒680-0841 鳥取市吉方温泉3-802 TEL.0857-22-1122

☎ 0857-26-7086  
☎ 0857-29-6621

『とっとりNOW』はWEBでも見られます。  
また、WEB限定のコラム「すべての道は鳥取に通ず」「菌活で広がるきのこの世界」「満ぶくよくばりグルメ皿」も連載中。

